



宮永岳彦記念美術館だより

2017 5月

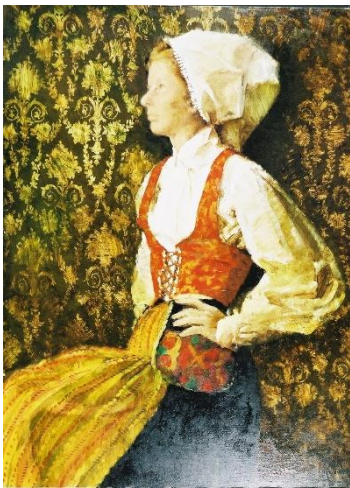
発行/ 秦野市立 宮永岳彦記念美術館 〒257-0001 神奈川県秦野市鶴巻北 3-1-2
TEL / FAX 0463-78-9100

常設展示室

宮永岳彦 悠久の美

2017年3月15日(水) - 9月18日(月・祝)

◆◆ 展示作品より今月の一点 ◆◆
《 DENMARK 雅 》



この作品は宮永が50歳を過ぎた頃から、「美しいものをより美しく描きたい」と、油彩美人画に専念しようと決心し、描き始めた一連の民族衣装シリーズの最初のものでした。

「人物画を描くとその服装によって古くも新しくも見える。永い伝統の中で生きてきた民族衣装なら、いつの時代でも不変である」と考えた宮永は、デンマーク大使館で衣装

を借り、デンマーク人をモデルにして描いています。

それまでの動的なフラメンコシリーズなどの舞踊連作とは打って変わって、民族衣装シリーズは、静的で格調高い作品となり、人々を魅了していきました。宮永芸術と称される華麗で優雅な女性像は、ここから発展していったのでした。

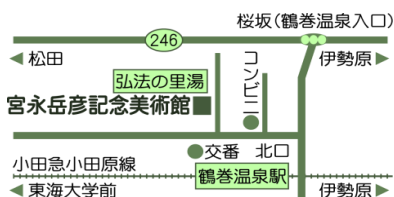
そして、人物画の実力を認められ確固たる地位を得た宮永は、1974(昭和49)年には、ブラジルの日伯文化協会の依頼によって、当時の皇太子と皇太子妃(現天皇・皇后陛下)の肖像画を描きました。明治以降、日本人で宮内庁の正式な許可を得て天皇家を描いたのは、この作品だけといわれています。

この肖像画は、サンパウロ市の日伯文化協会皇太子記念館貴賓室に奉掲されましたが、縮小写真は当館常設展示室でご覧いただけます。

油彩画 1971年 60F

◆ 観覧料 ・一般 300円 (弘法の里湯利用者は100円割引)
・高校生以下、障害者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

美術館へのアクセス



◆ 小田急線鶴巻温泉駅より徒歩2分

◆ 駐車場 弘法の里湯と共用40台
1時間150円、以降30分ごとに100円

《隣接》 公営日帰り温泉 弘法の里湯 TEL0463-69-2641

5月の休館日：1日(月) 8日(月) 15日(月) 22日(月) 29日(月)

市民ギャラリーのご案内 入場無料

秦野スケッチ会

風に吹かれてきまみに楽しく描いているよ!

5月2日(火)~5月7日(日)

10:00~17:00 初日13:00から 最終日13:00まで

自然や花・人形・物すべてに愛をこめてスケッチした、それぞれ個性ある作品です。

青と白の世界 山岳写真展「世界の山々」 第三回 ヨーロッパ・南北アメリカ・オセアニア

5月9日(火)~5月14日(日)

10:00~17:00 初日13:00から 最終日15:00まで

マッキンリーをはじめ世界の高峰名峰に登り、山の懐に飛び込んで撮影した青と白の世界!是非ご高覧ください。

佐藤庄市 油彩・水彩画展

5月17日(水)~5月21日(日)

10:30~17:00 最終日16:00まで

信州などへのスケッチの旅にて描いた水彩画と、取材スケッチからおこした油彩画とパステル画を展示します。

青藍水墨画協会 第15回 西湘展

5月24日(水)~5月28日(日)

10:00~17:00 最終日15:00まで

15年の節目を迎える事ができました。会員は高齢になりましたが、心意気は元気に、思いを込めた作品です。

2017.6月の市民ギャラリー 展覧会の予定

秦野写真連盟 第15回写真展

6月6日(火)~6月11日(日)

写楽クラブ 第8回写真展(仮)

6月13日(火)~6月18日(日)

Wave 絵画(仮)

6月20日(火)~6月25日(日)

志村洋裁教室 作品展(仮)

6月29日(木)~6月30日(金)

※5月2日(火)より2017年11月分までの予約を受け付けています。

展示のみどころ



昭和54年に創刊され現在まで続く月刊『日本橋』。宮永は表紙画を、昭和55年4月号から58年3月号まで描き下ろしました。

「悠久の美」展では、原画とともに実際の印刷物である冊子も展示しています。